

(株)ニッポン 2026年3月期の連結業績及び次期連結業績予想

< 連結業績の概要 >

(%表示は対前期比率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		配当金 円 銭/1株
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	
2026年3月期	418,425	101.8	22,082	102.8	24,874	102.0	21,803	88.1	68.00
2025年3月期	410,878	102.6	21,486	105.6	24,393	104.8	24,757	93.9	66.00

当社グループは経営理念「人々のウェルビーイング（幸せ・健康・笑顔）を追求し、持続可能な社会の実現に貢献します」のもと、企業価値の持続的な向上に努めております。

当期においては、収益力強化を図る取り組みとして、マーケティング戦略を家庭用から業務用まで含めた全領域へ拡大し、「消費者起点のマーケティング」を徹底することで、ブランド認知の更なる向上と収益拡大に取り組みました。

加えて、成長領域の拡大に向けた取り組みとして、冷凍食品の需要拡大を見据えた供給体制の増強を目的に進めている株式会社畑中食品の新冷凍食品工場建設は、2026年度末の竣工に向けて順調に進捗しております。また、海外事業では、ASEAN地域や北米地域において販売が好調に推移したほか、Utah Flour Milling, LLCが本格稼働し安定操業を継続するなど、更なる事業拡大に取り組んでおります。

2026年2月には国内製粉事業の基盤強化を担う知多工場が稼働を開始しました。同工場では大型穀物船接岸による原料調達コストの削減に加え、自動化技術の導入やスマートファクトリー化を推進することで、作業負担を軽減し高い生産性を実現しております。さらに自然災害への強靭性、省エネ性能、環境配慮を兼ね備えたサステナブルな最新鋭の製粉工場として、安定供給と収益性の向上に貢献してまいります。

当社グループの当期の業績につきましては、インバウンド需要の拡大やマーケティング戦略を駆使した販売促進、並びに諸コストの上昇に伴い実施した価格改定により、売上高は4,184億2千5百万円（前期比101.8%）となりました。利益面では、各事業において人件費および物流費を始めとした諸コストの増加があったものの、販売が堅調に推移したことにより、営業利益は220億8千2百万円（同102.8%）、経常利益は248億7千4百万円（同102.0%）となりました。一方で、前年に遊休地の売却による特別利益の計上があったことにより、親会社株主に帰属する当期純利益は218億3百万円（同88.1%）となりました。

< 当期の配当金 >

当期の期末配当は、当期の業績が予想を上回る水準となったことから、株主の皆様への一層の利益還元を図るため、前回発表予想より2円増配の1株当たり35円とする剰余金の処分に関する議案を定時株主総会に付議させていただきます。これにより、年間配当金は既の実施させていただきました中間配当金とあわせて1株当たり68円となります。その結果、「特殊・特別な損益」を除外して算定した連結配当性向は33.5%となります。

< 次期連結業績予想 >

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期比率)

2027年3月期	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		配当金
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭/1 株
第2四半期(累計)	214,000	102.9	9,000	82.9	10,000	82.4	10,300	111.1	34.00
通 期	430,000	102.8	19,500	88.3	21,000	84.4	21,200	97.2	68.00

2027年3月期の業績見通しにつきましては、販売が引き続き堅調に推移すると見込まれることから、売上高は4,300億円(前期比102.8%)を予想しております。利益面では、拡販に伴う販売数量伸長等による売上高の増加が見込まれる一方、引き続き人件費や物流費、原材料費を始めとした諸コストの増加が続くことが想定されます。このような状況下、償却前営業利益については増益を見込んでおりますが、新工場稼働等に伴う償却負担増が想定されることから、営業利益は195億円(同88.3%)、経常利益は210億円(同84.4%)、親会社株主に帰属する当期純利益は212億円(同97.2%)を予想しております。

次期の配当金につきましては、1株につき当期と同額の年間68円を予定しております。

以 上